

平成 30 年度 事後評価点検表（内部評価）

1 事業概要

事業名	主要地方道泉佐野岩出線（葛畑工区）道路事業
担当部署	都市整備部交通道路室道路整備課建設グループ（連絡先 06-6944-9276）
事業箇所	泉南市信達童子畑
事業目的及び事業内容	<p>【事業目的】 本路線は、大阪府南部と和歌山県北部を結ぶ、重要な府県間連絡道路である。本バイパスの整備により和歌山県との連携など広域的な幹線道路ネットワーク機能を強化し、沿道地域の発展に寄与する。 また、並行、一部重複する現道は、広域緊急交通路に位置づけられているが、狭隘部や線形不良区間が多くあるため、本路線の整備により災害時の緊急車両用道路等の機能を確保する。</p> <p>【事業内容】 道路築造工 延長：L=0.9km 幅員：W=8.0m（車線数：2、歩道なし）</p>
関連事業とその現状	—
社会経済情勢の変化	本事業区間に接続する一般府道堺阪南線から泉南市信達童子畑までの 7.2km 区間は平成 25 年 3 月までに供用済み。（一般府道堺阪南線から泉南市信達金熊寺までの 4.1km 区間は 4 車線供用、泉南市信達金熊寺から信達童子畑の 3.1km 区間は暫定 2 車線供用）
事業実施による自然環境の変化	特筆すべき自然環境への影響はない。
最終評価時の意見具申（付帯意見）と府の対応	<p>【最終評価時の意見】 —</p> <p>【府の対応】 —</p>

2 事業効果の分析等

	最終評価時点 H25	事後評価時点 H30	変動要因の分析
事業費	45.8 億円 〔国：25.2 億円、府：20.6 億円〕	45.8 億円 〔国：25.2 億円、府：20.6 億円〕	変化なし
経過 ①事業期間 ②採択年度 ③着工年度 ④完成年度	① 20 年 ②平成 6 年度 ③平成 6 年度 ④平成 25 年度	① 20 年 ②平成 6 年度 ③平成 6 年度 ④平成 25 年度	変化なし
定量的効果 （費用便益分析等）	<p>【効果項目】 ・走行時間短縮 ・走行経費減少 ・交通事故減少</p> <p>【分析結果】 ・B/C=1.2 ・B= 114.6 億円 ・C= 95.6 億円 （信達金熊寺地内から府県境までの 2.7km 区間で算出）</p> <p>【算出方法】 費用便益分析マニュアル（国土交通省平成 20 年 11 月）※総便益及び総費用は、基準年（平成 21 年）における現在価値で算出している。社会的割引率は年 4 %、供用開始は平成 25 年、費用便益の算定期間は供用開始から 50 年としている。 ※総費用＝事業費＋維持管理費</p> <p>【受益者】 ・道路利用者</p>	<p>【効果項目】 ・走行時間短縮 ・走行経費減少 ・交通事故減少</p> <p>【分析結果】 ・B/C=1.2 ・B= 162.5 億円 ・C= 131.7 億円 （信達金熊寺地内から府県境までの 2.7km 区間で算出）</p> <p>【算出方法】 費用便益分析マニュアル（国土交通省平成 20 年 11 月）※総便益及び総費用は、基準年（平成 30 年）における現在価値で算出している。社会的割引率は年 4 %、供用開始は平成 25 年、費用便益の算定期間は供用開始から 50 年としている。 ※総費用＝事業費＋維持管理費</p> <p>【受益者】 ・道路利用者</p>	概ね変化なし
事業効果の定性的分析 （安心・安全、活力、快適性等の有効性）	<p>【効果項目】 [安心・安全] ・災害発生時の広域緊急交通路の確保 ・狭隘、線形不良区間の解消による安全な道路交通確保 [活力] ・物流ネットワークの強化</p> <p>【受益者】 ・道路利用者、地域住民</p>	<p>【効果項目】 [安心・安全] ・災害発生時の広域緊急交通路の確保 ・狭隘、線形不良区間の解消による安全な道路交通確保 [活力] ・物流ネットワークの強化</p> <p>【受益者】 ・道路利用者、地域住民</p>	所要の目的を達成している
その他特記事項	—		

3 評価結果と今後の同種事業に対する改善措置等

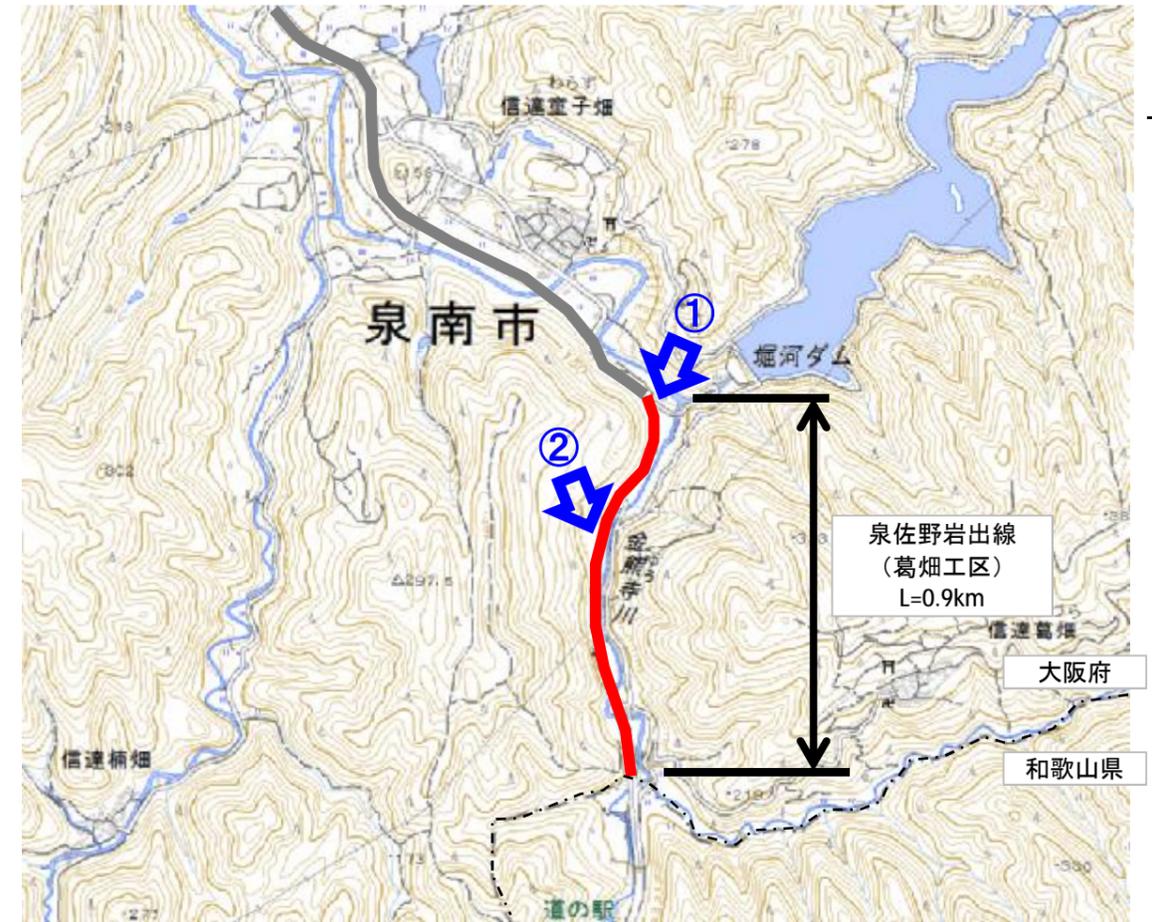
評価結果 (事業効果の発現 状況等)	・本事業区間を整備することにより、広域的な幹線道路ネットワーク機能が強化された。
今後の同種事業に 対する改善措置等	—

平成30年度 事後評価 (主要地方道 泉佐野岩出線(葛畑工区) 道路事業)

事業箇所図



平面図



現況写真



標準断面図

